

神性を開く 三多摩見真会



と き… 2 月 14 日(金) ~ 15 日(土)

昼 食… お弁当希望の方は、組織を通じてお申し込みください

【プログラム】 受講の際は必ずテキストをご準備ください

1 日目 (2/14 金)		2 日目 (2/15 土)	
9:30	開会の祈り・挨拶 (二俣 会長)	9:50	聖歌斉唱
9:40	体験発表 押見美耶子 講師	10:00 先祖供養祭 祭司：鶴田智昭 講師 聖經『甘露の法雨』『天使の言葉』 	
9:55	体験講話 「神の愛、先祖の愛に護られて」 武田 和子 講師 (東京第一教区)		
10:55	武田和子講師を囲んでの座談会 (ファシリテーター：久都間 教化部長)		
11:25	聖歌合唱の時間 ~みんなで歌おう~	11:40	一汁一飯について (昼食・休憩)
11:40	(昼食・休憩)	11:40	一汁一飯について (昼食・休憩)
12:30	神想観実修 (先導：倉橋 弘 講師)	12:30	神想観実修 (先導：高倉明子 講師)
13:00	浄心行について 秋山久美子 講師 『“新しい文明”を築こう (中巻)』	13:00	神癒について 久都間繁 教化部長 新版『詳説 神想観』
13:30	(浄心文記載・会場準備・ティータイム)	13:30	(会場準備)
13:50	浄心行実修 先導：君塚静男 講師 聖經『甘露の法雨』(注①) 	13:40	祈り合いの神想観実修 先導：久都間繁 教化部長 (Zoom 参加者も祈って もらうことができます) 
15:10	(感想文記載・連絡事項)	15:05	閉会の祈り・挨拶 (織田 連合会長) 『使命行進曲』 斉唱・光輪握手

注① ネット参加の場合、浄心行で焼却する浄心文はご家庭で記載され、封筒に入れて 2/13 までに教化部に届くように郵送してください。封筒の表に「浄心文在中」と必ずご記入ください。こちらでは開封はせずに、封筒のまま焼却します。

- 参加奉納金は右表のとおりです。
- ネット参加者の奉納金は随意です。後日、教化部にご奉納ください。
- 「午前のみ」「午後のみ」参加の場合も、奉納金は 1,000 円となりました。

	1 日目	2 日目
奉納金	1,000 円	1,000 円
弁当代	500 円	500 円

建国記念の日祝賀式

2 月 11 日(火・祝) 10:00 ~

会場… 教化部・大拝殿 (どなたでもご参加いただけます)
配信… Facebook グループ「生長の家東京ムスビのひろば」で配信 (Zoom での配信はありません)



題字 谷口雅春先生 御揮毫

令和 7 年
(2025 年)
2 月号


ISO14001 の認証を取得
生長の家東京第二教化部



発行人 久都間 繁
編集人 加藤 嘉寛
生長の家東京第二教化部
〒183-0042
東京都府中市武蔵台 3-4-1

- 教化部・相愛会
青年会・栄える会
教職員会
TEL 042-574-0641
FAX 042-574-0642
- 白鳩会
TEL 042-574-0643
FAX 042-574-0642
- 地方講師会
TEL 042-574-4732
FAX 042-574-0642

『多摩の光』は
ネットでも
見られます

多摩の光 
で検索



相愛会

建国記念日に向けて

青梅相愛会 大沢高虎

アメリカ合衆国は1776年にイギリスから独立し、フランスは1789年のフランス革命に関連して建国記念の日を決めています。日本は神話に基づいて建国日が制定されています。世界で神話に基づいて建国され現存する国としては唯一日本のみです。

神武天皇の橿原奠都の詔に「六合を兼ねて都を開き八紘を宇と為さん」とあります。六合とは天地四方で、あらゆる

方角の世界各国には各々都がある。その都を兼ねて、世界各国を一つの宇、即ち家庭とならしめる。その家庭が世界連邦であり、そこにすべての国々の都はありながら、兼ねて連邦の中心たる都が出来るというのが神武天皇ご即位の詔勅にある建国の理想・世界連邦国家です。

生長の家と各団体との協力によって、「建国記念日」が二月十一日となったことは、日本国民が建国を祝い、その理想を自覚し、今日までこの国を発展させ護り続けて来られた父祖達に感謝を捧げる「日」が定まったことで、大変意義深いことでもあります。

相愛会活動フォト日記

住吉神社(青梅)の清掃奉仕



青梅・羽村地域の有志会員が、12月29日に年末恒例の住吉神社清掃奉仕を実施されました。

地方講師会

十干十二支

副会長 渡邊由美子

人生の先輩の方々のご存知とされています。干支という一般的な十二種類の動物「子・丑・寅」を思い浮かべますが、正しくは、十干「甲・乙・丙」と十二支を組み合わせた「十干十二支」を略した言葉だそうなんです。組み合わせが六十通りあり一巡して還暦を迎えます。

今年乙巳。「乙」は困難があっても紆余曲折しながら進む。「巳」は再生と変化を表す。つまり、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展して行くという意味があるそうです。

生長の家の運動も今年度から大きく変化して行きます。「数から質」への転換とご教示いただいています。地球社会貢献活動や天地一切のものを拝む神の子としての生き方を、まずは自分でも実践して多くの人々に伝えていく運動です。

教区の皆さんと一緒に頭を柔らかくしてアイデアを出し合い、変化を楽しみながら活動してまいります。

白鳩会

初午祭はなぜ二月にある?

副連合会長 秋山久美子

現在私達が使っている暦は太陽の動きをもとにして作られている太陽暦といえます。一方、月の満ち欠けをもとに季節を表し、太陽の動きも加味して作られたのが太陰太陽暦と呼ばれるものです。太陰太陽暦と言っても歴史の中で沢山の太陰太陽暦が使われてきて、明治5年の改暦の直前に使われていたものを一般に「旧暦」と呼んでいます。

太陰太陽暦で行なっていた習慣は現在も私達の生活の中に生き続けています。旧暦は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と節目が4回あり、立春が新しい年の始

まりとされ(中国では今でも春節がお正月)、立春の前の日は現在の大晦日のような日、年の変わり目に邪気を祓い、一年の無病息災を願う行事が重んじられていました。これが「節分」です。

そして立春から一年の始まりです。春の兆しを感じられる頃で、農作業に取り掛かる大切な時期でその年の豊作を願って稲荷神社に参拝するのが「初午祭」です。初午祭のいわれは、奈良時代の七一年(和銅4年)、初午の日に穀物の神様「稻荷大神」が稲荷山に鎮座され、稲荷大神を祀るために初午に執り行われる「初午祭」が全国に拡がったといわれています。

宇治の末一稲荷神社は昭和5年3月に谷口雅春先生が『生長の家』誌を創刊された折、輝子奥様が近所の婦人に勧められて神誌の拡大を祈願されるために伏見

稲荷大神より末一稲荷大神の神霊を受けられ、以来45年間谷口家の御私邸に祭祀され、それを機縁として稲荷大神の不思議な御導きを受け宇治別格本山が開山されたことを顧みれば、その御神徳は大いなることと言えるでしょう。

令和7年の宇治別格本山末一稲荷神社の初午祭は2月6日(木)です。私は毎年真心からの教勢発展・繁栄祈願を出させていただいています。そして現実化するのがとても嬉しく喜び一杯です。



宇治別格本山末一稲荷神社と参道

Table with 10 columns and 60 rows showing the 10 Heavenly Stems and 12 Earthly Branches. The first row is 1 甲子, 2 乙丑, 3 丙寅, 4 丁卯, 5 戊辰, 6 己巳, 7 庚午, 8 辛未, 9 壬申, 10 癸酉. The last row is 51 甲寅, 52 乙卯, 53 丙辰, 54 丁巳, 55 戊午, 56 己未, 57 庚申, 58 辛酉, 59 壬戌, 60 癸亥.

生長の家総裁・谷口雅宣先生は「新年のあいさつ」で、「今年は心の中で『不安』を飼育して、『敵』を作らなことをやめましょう」(『生長の家』一月号)とお示しくださった。心に生じた「不安」は、真理の光で照らせば消えていく。しかしそれを放置すれば、心は「空白」に耐えきれず、同類の仲間たちを掻き集めて隙間を糊塗するだろう。

たとえば『生命の真相』『光明篇』第四章の冒頭には、「すべての心の不安、恐怖、憂鬱、取越し苦労と云うような精神的な苦痛は勿論、現実の病氣災難というものも、吾々が神から離れることによつて起るのであります」と説かれている。つまり「不安」は、「神から離れること」によつて生ずるので。逆に「神との一体感」が深まることで、不安が安心に、恐怖が深い慈悲に、憂鬱が悦びに、取越し苦労が夢や希望へと一変するだろう。

神との一体感を深める道はただ一つ、それは人間・神の子を生きることに尽きるのだ。これについてみ教えは観行、誦行、愛行の三正行を教えてください。が、今回は、諸先輩から私が学ばせていただいたこと一端を紹介したい。

その一つは定期的に『生命の真相』(日本教文社刊)全巻を拝読することである。私の手元にある聖典は、かつて宇治で修行した二十代の時「頭注版」で全巻を読み、再読の折に「愛蔵版」を購入して原典ならではの歴史的仮名遣いを味わった書籍だ。以来、十年ごとに全巻を最初から熟読玩味することが私の大切な

信仰随想 川のほとりにて 23

“神の子・人間”への脱皮

慣習となり魂の巡礼となっている。そして再読する度に新たな境地が開け、内なる生命の真相(久遠を流るいのち)が蘇り、光の泉が滾々と湧出して家族やご縁ある人を潤している。私はこれを“生命の真相”体験と秘かに呼んでいる。

私たちの生活が春夏秋冬という四季の恵みを通して一年が巡るように、日々の暮らしの中で『生命の真相』が紐解かれることで、家族や周りの人びとの様々な自壊作用に対処でき、「心の法則」と「唯神真相」の

教えを力ギに問題の背後に潜む意味を読み解き、完全円満なる生命の真相を拝ませてください。このいとなみは観世音菩薩との対話であり、今年の干支である「蛇が脱皮を繰り返す」のと同じように、肉体人間から神の子・人間への脱皮でもある。

久都間 繁 (東京第一教区・第二教区教化部長)

聖典の拝読は、二十代には二十代ならではの発見があり、四十代には四十代の、七十代には七十代の、それぞれ的心境に達して初めて見えてくる世界がある。この巡礼を続けるほどに神と共なる自覚が深まるから、「不安を飼育して」るような「心の空白」は雲散霧消して、生命の充盈感に満たされるだろう。

大切なことは、著者が直接編集した「日本教文社」版が信頼に足る文献であり、あなたを着実に「真理の道」へと導くだろう。年齢を重ねる程に深まる「円熟の時」を豊かに味わい、不朽の真理を後世に伝えていきましよう。

教化部長による 地区講演会

西多摩、青梅

久都間教化部長が地域を巡る講演会です。地区を越えて、どなたでもご参加いただけます。

とき… 2月4日(火) 13:00 ~ 15:00
ところ… S&Dたまぐーセンター (4F 会議室B)

テキスト… 『新版 幸福を招く 365章』

奉納金… 300円

S&Dたまぐーセンター
(青梅市文化交流センター)

プログラム(予定)

- 13:00 神想観実修
- 13:30 開会の挨拶
- 13:33 体験談
- 13:45 講話
- 14:25 質疑応答・感想
- 14:45 行事案内
- 14:55 閉会の挨拶・祈り



住所: 青梅市上町 374 番地

<アクセス> ・JR青梅駅より徒歩5分ほど。
・近くにコインパーキングがあります。

心も温まる地域社会のムスビの場

生長の家オープン食堂

無農薬・有機栽培を食べよう!

2/9(日) 12:00 ~ 13:15
(ラストオーダー)



(写真はイメージです)

会場: 教化部ロビー
対象者: どなたでも
メニュー: カレーうどん
おいなりコロッケ

食事代は無料です

食数は50食までとなります

オープン食堂には近隣住民の方が毎回20名ほど参加され、地域コミュニティの1つとなっています。



よろこびの信仰体験

小金井市 南谷洋子さん



私は昨年の多摩川での「石彫りイベント」に参加し、帰宅する時、目の前に形の良い石があったので持ち帰り、家で再度「石彫り」をする為に、教化部から道具一式をお借りしました。

石を持ち帰ったもう一つの理由は、主人も石彫りをやりたいと言いかなく(笑)と思ひ、主人へのお土産にしたかったからです。しかし、主人に話すと第一声「えー僕もやるの?」。石彫りの意味を伝えると「じゃあ、やる」ということになり、週末に取りかかることになりました。

先ずは家の庭先でタガネとトンカチでカンカンと始めたのですが、叩く度に周りに響き渡り、お隣の方が窓を開けて確認されたので、「これはご近所迷惑になる!」と慌て、都立武蔵野公園の野川まで移動しました。

公園では騒音を気にせずに石彫りができましたが、あと少しで完成という段階になると割れてしまう事が二回も続きました。主人は諦めかけましたが、私は「次は上手くいくよ」と優しく助言。

そのうち手頃な形の良い石がなくなり、足元にある石を掘ったところ表面上は平らでも掘り続けると漬物石かと思うほど

大きくて断念。丸くないけど手頃な大きさの石を見つけて石彫りをしていると、通りがかりの方が上から覗き込まれ、「石にお絵描きですかあ?」なんて声をかけてくださったのですが、私たちは返す言葉がなく笑顔を返しましたら、去って行かれて一安心(笑)。

こうして、ドタバタの末に無事に「笑いが絶えない」石彫りが終わりました。何か「具体的な願いが成就した」という体験ではありませんが、主人と楽しい時間を過ごさせていただくという「ムスビの働き」の功德はたくさん頂きました。ありがとうございます。



末一稻荷神社 「教勢発展・繁栄祈願」

第51回 末一稻荷神社 初午祭

日時：2月6日(木) 午前11時～(配信なし) 場所：生長の家宇治別格本山(参拝はできません)

末一稻荷神社は、かつて谷口雅春・輝子先生御夫妻が御自宅にて45年間に亘り神誌拡大を祈願されてきた由緒ある御神霊です。教勢発展・繁栄祈願、受験合格にも霊験が高いと評判です。

(お申し込みは1月29日までとなっています)

2025年度 第1回 幸せを運ぶ 教育フォーラム

日々忙しく子育てする お母さんとお父さんのために

～今こそ真理を学ぼう～

仕事や子育ての悩みを共有するディスカッションや、真理を実践した喜びの体験を聞くことができます!

【アドバイザー講師】

 久都間繁 教化部長

 久都間育代 講師 他

2/2 (SUN) 13:30~15:00

会場 東京第二教化部 3階 研修室

☆カフェをご用意してお待ちしています

【プログラム】

13:30 開会
ディスカッション
～カフェとともに～
喜びの体験談

15:00 閉会

2月7日(金)

12:30～

毎月 久都間教化部長が指導します

実相研鑽ネットフォーラム

年齢性別を問わず、どなたでも参加できます

会場：大拝殿 (ZOOMでも配信されます)

テキスト：『新版 生活の智慧 365章』

12:30 神想観

13:00 講話・質疑応答
久都間繁教化部長

13:45 終了

※次回3月は第一教区からの配信になります。

13:45～

白鳩会 熟年のつどい

13:45 会員祝福

14:15 懇親会

14:30 閉会

☆次回3月5日(水)



続・森からのメッセージ (92)

なぜ地球は暑くなってしまうのか? (17)

"Now it is a perfect opportunity to leave no atomic power for next generations" HappyFly

地下に埋蔵されていたウラン鉱石から、核分裂による強烈な熱を破壊と殺人に利用したのが原子爆弾である。戦争に勝利するために先の大戦下で為政者が必死になって爆弾完成のために科学者の“愛国心”に訴えて密かに開発した。統制下の管理された状況のもとに秘密裏に開発されたので、当時はまだその危険性について研究者もよくわからなかった。その誕生からして、決して平和のために人々の幸せのために開発された技術ではなかった。

同じことは、ジェームズ・ワットの蒸気機関についてもいえる。化石燃料の石炭や石油も産業革命などで経済発展に大きく貢献したものの、富国強兵の政策の下に為政者に利用され、黒船や蒸気機関車などを作り、競争して植民地を拡大した。帝国主義を蔓延させ各地で紛争がたえなくなってしまう。

原爆で被爆した人はその一番の犠牲者である。後遺症の白血病等で苦しみ、子孫にまで影響が残るといわれている。その反省から、戦後は原子力の平和利用が叫ばれ、我が国では政府が方針転換し、自国で開発はしないが、米国からまるごと購入する政策をとり、大手電力会社に

<筆者紹介> 元地方講師会長
国立感染症研究所客員研究員
ミュージアム・リサーチフェロー
環境省希少野生動物種保存推進員
★このコラムは、『聖使命新聞』
掲載文の続編として連載中。

倉橋 弘 (文と写真)

原子力発電所を稼働させ現在に至っている。

原発は核兵器の製造に必要な技術や物質を生産する過程を含むので、いつでも、兵器生産に転嫁することができる。また、発電所はミサイルにより攻撃されれば、津波で極めて深刻な放射能汚染を引き起こしたように、社会は大混乱をきたすことになる。



石炭火力発電所近隣の住民の声を伝える「生長の家」誌1月号

このように原子力エネルギーの利用が極めて危険であることは自明であるが、問題は、原子力発電、石油、石炭などの化石燃料を使用しての、ジェームズ・ワット型の電力、動力の生産が、今、一番危惧されている「地球温暖化」の元凶であることに気が付いていないことである。火力発電もタービンを回した水蒸気を海水で冷やしている。海に膨大な熱を放出しているのは、原子炉と同じで、温室効果ガス CO2 の放出以外に、海水の温度上昇をも招いている。

技術は進んできた。要は、切り替えの決断である。



調理スタッフ



ノーミート料理



満席の客席

今年1回目のおーブン食堂を開催。参加者数64名の内、外部の方は19名もいらっしやいました。その中には、開始30分前から並ばれた方や、年間予定表をご覧になって「あ！またフェスタやるのね！また来なきゃ！」と声をあげて喜ばれる方もいらっしやいました。

〈報告〉 1月19日(日) 生長の家おーブン食堂



聖歌隊と共に



教化部長挨拶



総裁先生の動画視聴

新年を寿ぐ祝賀式を教化部にて開催。冒頭で総裁・谷口雅宣先生の「新年のあいさつ」を視聴。皇居遙拝、六先生への感謝の言葉、七者の挨拶の後、聖歌隊の先導で『新生讃歌』『二月一日』を合唱しました。会場参加者数は46名、閉式後はお汁粉が振る舞われました。

〈報告〉 1月11日(土) 新年祝賀式

谷口雅宣先生著「生長の家総裁」
二百字日記2
オリジナル原稿用紙・しおり付き
「二百字日記」は著者が日々
の出来事や世
界で起きている
さまざまなる事
象や事件から
感じ、考えたことを軽やかに綴った日記。本書は「二百字日記1」の続刊です。
▼四六判・264頁▼1300円
▼宗教法人「生長の家」刊



参加者総数 41 名



教化部長講話



体験発表

JR八王子駅前の八王子学園都市センターにて開催。神想観実修、飯島民恵さんの体験談発表の後、教化部長の講話を拝聴しました。「久しぶりに生長の家の行事に参加しました」という方もあり、質疑応答も活発でした。この講話は Facebook にて視聴できます。

〈報告〉 1月20日(月) 地区講演会(暁、八王子、八王子多摩)

※派遣講師が出講できなくなった場合は、まず会場責任者と相談し、無理なら講師会事務局に連絡を。

会場名	日	曜	時間	会場責任者	派遣講師
福生	21	金	13:30	富田栄子	國近明美
新町	24	月	10:30	小林百合子	小林百合子
羽村	24	月	10:30	土屋合子	//
青梅梅郷	20	木	10:30	浅田龍子	丸山有潮
青梅	20	木	10:30	吉原千津子	//
青梅畑中第一	18	火	13:30	田中勝代	國本日登美
青梅畑中第二	6	木	13:30	福島ひろ子	石川律子
母親教室					
母/小金井いずみ	10	月	10:00	花岡恵美子	恒川鼓
母/清瀬	20	木	10:00	瀬尾絵梨子	ネットフォーラム
母/東久留米新川第二			14:00	岡本奈津子	ネットフォーラム
母/調布こでまり	13	木	10:30	藤田友子	秋山久美子
青年会誌友会					
輪読ネットフォーラム	1	土	13:30	小西由希子	ネットフォーラム
栄える会支部例会					
三鷹支部例会	16	日	10:00	榎間裕	倉橋弘
ひばり支部例会	22	土	11:00	鷗野昌一	輪読会
大国魂支部例会	22	土	11:00	榎間裕	//
生命学園					
町田生命学園	9	日	10:00	佐々木晴代	忠生市民センター
国分寺生命学園	9	日	10:00	岩田幸枝	教化部
日野生命学園	9	日	10:00	山口節子	//
国立生命学園	9	日	10:00	中田民子	//
八王子生命学園	16	日	10:00	押見美耶子	大横町会館
西武生命学園	24	月	13:30	塚原光子	倉橋宅クラブ
府中生命学園	22	土	10:00	中村純子	教化部

会場責任者は、開催日の1週間前までに派遣講師と連絡を取り、打合せを行ってください。

白鳩会 IT 対策部主催
スマホ教室のご案内

LINE、Facebook、Zoomなど
何でもやさしく、お教えします。

とき：**2月19日(水) 13:30~**
ところ：**教化部・1階 信徒休憩室**
対象者：**第二教区の組織会員**
参加無料、予約不要

参加者募集! ♪ **聖歌練習日** ♪

真理の言葉を音楽にのせて、明るく楽しく歌います。

日時：**2月9日(日) 13:30~15:30**
2月16日(日) 13:30~14:30 (Zoom)
2月21日(金) 13:30~15:30

場所：**教化部・大拝殿または3階研修室**
持ち物：**聖歌歌詞集、あれば楽譜**

日曜誌友会 (東京第一教区主催)					
時間：12:30~14:00 (最初の30分は神想観実修)					
場所：東京第一教化部・大拝殿					
配信：ZoomとFacebook(東京ムスピのひろば)で配信					
月	日	曜	担当	講師	テキスト
2	2	日	東京第一	関 美鈴	
2	9	日	東京第一	櫻井時子	
2	16	日	東京第一	小澤悦子	
2	23	日	休会		

2月の「講師研修会」テーマ解説
(国際本部通達より抜粋)

テーマ：人生の「光明面」を見る生き方を実践しよう

激しさを増しつつある気候変動、不安定で予測できない国際情勢、国内での政治の不正や物価高による生活の困窮状況などの報道を日々見聞きしていると、私たちはつい不安な思いに囚われてしまいそうになる。しかし、このような中でこそ、生長の家が立教以来説き続けてきた、人生の「光明面」を見る生き方を生長の家の講師自らが実践し、人々に伝えていくことが大切である。

そこで2月度は、機関誌『生長の家』1月号に掲載されている、総裁・谷口雅宣先生の「2025年新年のあいさつ」および『生長の家』創刊号、谷口雅宣先生のご著書『太陽はいつも輝いている -私の日時計主義実験録』を読み、以下のポイントについて理解を深める。

- ◆対立の方向へ向かう世界の中で、生長の家では、自分と相手との間の何をきちんと認めるべきと説いているか
- ◆立教当初から説かれている「朗らかに笑って生きる」「日時計主義」「礼拝主義」とは、具体的にどのような生き方か
- ◆「日時計主義」はどのような哲学的、宗教的前提から成り立っているか

ブロック講師交流会 開催予定		
	開催日	開催方法・開催場所
A	2/17月 10:30	Zoom
B	2/18火 14:00	Zoom
C	2/19水 13:30	教化部多目的室 +Zoom
D	2/27木 13:30	Zoom
E	2/18火 10:00	Zoom
F	2/22土 10:30	八王子市学園都市センター +Zoom
G	2/21金 10:30	Zoom
テキスト 機関誌2月号、普及誌『白鳩』2月号 冊子『“神の子”は性別によらず』		

2月 誌友会予定表

誌友会テーマ…… ジェンダーと性自認について
理解を深めよう

誌友会テキスト… 『“神の子”は性別によらず』
普及誌 3 誌 2 月号

母親教室テーマ…… 子供の願い、親の願い
～ 反抗期と思春期の子供の接し方～

母親教室テキスト… 普及誌『白鳩』 2 月号

会場名	日 曜	時間	会場責任者	派遣講師
相愛会誌友会				
家族誌友会	1 土	12:30	鶴田智昭	大沢高虎
三鷹	9 日	10:00	上森茂	布井剛
武蔵野	9 日	10:00	加藤嘉寛	〃
立川砂川	22 土	10:00	濱田實	鶴田智昭
国分寺東恋ヶ窪	22 土	10:00	布井剛	〃
東久留米大門	23 日	11:00	倉橋弘	榊間裕
武蔵村山	9 日	13:30	比留間康夫	倉橋弘
府中	15 土	13:30	佐藤辰夫	花岡裕
調布国領	2 日	14:00	渡辺勝城	江嶋勇蔵
国立梅	10 月	13:00	小林正行	佐藤辰夫
国立櫻	毎 日	7:45	織田孝	ネットフォーラム
オープン	9 日	14:30	織田孝	
八王子南	22 土	14:00	小野耕司	小林正行
日野	16 日	13:30	増田博保	田名網昇
青梅中央	22 土	14:00	大沢高虎	江嶋勇蔵
羽村	22 土	14:00	小林正行	〃
白鳩会誌友会				
三鷹駅前	20 木	13:30	西村きぬこ	飯島民恵
三鷹東第一	21 金	14:00	阿部希枝子	梶山きみえ
武蔵野第一	13 木	13:30	春山由美子	ネットフォーラム
三鷹井口第一	13 木	13:30	高橋多恵子	新田芳枝
三鷹井口第二	13 木	13:30	吉野紀代子	〃
武蔵野祥南	8 土	13:30	加藤幸子	濱田智恵子
小金井第三	10 月	13:30	林瑞穂	藤平睦子
東久留米第一	20 木	13:30	須谷珠己	山上教江
東久留米第二	20 木	13:30	寺西静枝	〃
清瀬	20 木	13:30	瀬尾絵梨子	〃
東久留米新川第二	20 木	13:30	水城イツ子	濱田智恵子
東久留米新川第三	21 金	13:30	土屋利恵子	菅原恭子
田無緑町	22 土	13:00	西原幸子	高橋優
田無	18 火	14:00	元美也子	ネットフォーラム
ひばり	19 水	14:00	橋岡マユミ	ネットフォーラム
小平小川東町①	20 木	13:30	吉井裕子	高倉明子
小平仲町第一	20 木	13:30	宮武三鈴	大塚美佳代
小平仲町第二	18 火	10:30	杉山廣子	秋山久美子
小平天神町	6 木	14:00	二俣玲子	ネットフォーラム
東村山南	19 水	13:30	井澤和子	押見美耶子
武蔵村山第一	12 水	13:30	國近明美	渡邊由美子
武蔵村山三ツ木	12 水	13:30	比留間富子	〃
調布下石原第二	毎 木	10:00	藤田友子	ネットフォーラム
調布下石原第三	8 土	13:30	更家文恵	春山由美子
調布若宮第一	6 木	10:30	仁井由紀子	澤登仁恵

会場名	日 曜	時間	会場責任者	派遣講師
多摩川	6 木	10:30	藤平睦子	〃
飛田給道場第一	3 月	10:30	赤井めぐみ	秋山久美子
飛田給道場第二	18 火	18:00	丸山有潮	二俣玲子
稲城矢野口	毎 木	10:00	渡邊由美子	ネットフォーラム
稲城向陽台	10 月	13:30	田村ミツエ	城下早苗
府中むさし台	21 金	13:00	中村純子	澤登仁恵
府中天神	毎 土	19:30	横山恭子	ネットフォーラム
府中北山	21 金	13:30	山上教江	高井暁子
府中東芝	毎 木	20:00	大塚美佳代	ネットフォーラム
府中本宿第一	18 火	10:30	赤坂妙	星谷絹代
府中本宿第二	6 木	13:30	高倉明子	押見美耶子
国分寺東恋ヶ窪第一	17 月	13:30	布井登茂子	早川純子
国分寺東恋ヶ窪第二	19 水	13:30	峯岸順子	藤平睦子
国分寺泉町	18 火	13:00	飯坂道子	大村真知子
西国分寺	21 金	13:30	大村真知子	新田芳枝
国分寺光	21 金	10:30	高橋優	出野八千代
国分寺東元町	7 金	14:00	時任泰子	ネットフォーラム
国立東第二	13 木	13:30	織田美智子	加藤幸子
国立中第一	8 土	13:30	中田民子	大沢高虎
国立中第二	8 土	13:30	出野八千代	〃
国立富士見台	8 土	13:30	村瀬伸子	〃
立川柴崎第一	24 月	13:00	永井恵子	梶啓子
立川富士見町	24 月	13:00	小菅美喜子	〃
町田玉川学園	16 日	13:30	石川悦子	梶啓子
町田金井第一	23 日	13:30	武内千鶴	中田民子
町田緑山	6 木	10:30	齋藤・老田	山口節子
町田緑山つくし	20 木	13:30	齋藤美子	ネットフォーラム
町田鶴川第三	27 木	10:00	中濱広子	ネットフォーラム
町田能が谷	10 月	13:30	中田・大野	赤坂妙
町田野津田	18 火	13:30	小関三起子	金谷啓子
町田金森	7 金	13:30	菅原恭子	二俣玲子
町田忠生	13 木	13:30	大橋美樹子	時任泰子
町田相原①	5 水	13:30	上田志真恵	飯島民恵
町田相原②		13:30	吉原早苗	ネットフォーラム
町田鶴川第一	6 木	10:00	小池洋子	輪読会
日野平山	6 木	10:00	橋本祐子	國近明美
日野西	12 水	10:00	馬場君子	馬場君子
日野三沢	18 火	13:30	山口節子	大橋美樹子
日野仲田①	26 水	13:30	前谷雅子	ネットフォーラム
日野仲田②	4 火	13:30	前谷雅子	イベント
八王子七国寺田①	7 金	10:00	恒川鼓	峯岸順子
八王子七国寺田②	7 金	10:00	押見美耶子	〃
八王子榎原めじろ台①	16 日	13:30	小形明子	赤坂妙
八王子榎原めじろ台②	21 金	13:30	加藤幸子	時任泰子
元八王子	20 木	13:30	今井紀美子	村上紘子
八王子下恩方	4 火	13:30	石井みのる	輪読会
八王子川口	6 木	13:30	鎌倉美佐子	村上紘子
八王子寺町	17 月	13:30	澤登仁恵	中濱広子
八王子平岡町	17 月	13:30	二ノ宮ゆう子	〃
八王子大横町	20 木	13:30	秋山久美子	長島倫子
八王子南大沢	13 木	13:30	加志すみ子	小林正行
八王子別所	13 木	13:30	早川いづみ	〃
多摩大塚	23 日	13:30	大澤裕水	峯岸順子
多摩落合	23 日	13:30	梅村聖子	〃

※ 会場責任者が開催日を変更したい場合は、まず派遣講師と相談し、無理なら組織事務局へ連絡を。

2月 定例行事の詳細

★2日(日) 10:00「聖典等拝読のつどい」(相)

テキスト：『生命の實相』第39巻〈佛教篇〉
対象者：希望者はどなたでも参加できます

★7日(金) 12:30「実相研鑽ネットフォーラム」 ・「熟年のつどい」(白)

指 導：久都間 繁 教化部長
テキスト：『新版 生活の智慧 365 章』(4頁参照)

★17日(月) 12:30「若い白鳩のためのネットフォーラム」(白)

方 法：Zoom (東京第二がメイン会場)
指 導：久都間 繁 教化部長
テキスト：新刊『夢の地平線』谷口純子先生著
プログラム：12:30 神想観実修
13:03 輪読・解説・座談会
14:30 閉会
対象者：組織会員ならどなたでも

★25日(火) 12:30「地方講師研修会」(講)

テーマ：人生の「光明面」を見る生き方を実践しよう
(テーマ解説は6頁を参照)
指 導：久都間 繁 教化部長
発表者：國近明美 講師
田島敦子 講師 (東京第一)
テキスト：機関誌1月号、『生長の家』創刊号
『太陽はいつも輝いている』
方 法：教化部もしくは Zoom

★28日(金) 12:30 「母親教室出講講師勉強会」(白)

テーマ：「美しい地球を子供たちに」
～ 未来世代への責任として～
指 導：久都間 繁 教化部長
発表者：大橋美樹子 講師
岩間深雪 講師 (東京第一)
テキスト：『母親教室出講のための手引き』
『日々の祈り』『夢の地平線』
『神さまと自然とともにある祈り』
『森の日ぐらし』、普及誌『白鳩』3月号

教化部の業務時間のご案内

9:30 開館～16:30 閉館

様々な要因を考慮した結果、現在はこの業務時間となっております。ご来館の際はご注意ください。

「神想観」配信のご案内

**休館日を除く毎日
12:30～13:00**

教化部長や地方講師が神想観を先導する様子を配信します。

Zoom ID 927-927-0301
Facebook 「東京ムスビのひろば」

★ 新会員紹介

相愛会 日野 復活1名
白鳩会 八王子恩方 復活1名
白鳩会 八王子七国寺田 復活1名
白鳩会 八王子南大沢 転入1名



いちじゅういつばん 一汁一飯の日

毎月15日を「一汁一飯の日」と定め、浮いた食事を国連世界食糧計画(WFP)へ教化部を通じて寄付する運動をしています。皆様もご協力ください。
教化部に専用の募金箱を設置してありますのでご利用ください。

新規聖使命会員11月分

(相) (青) 以外白鳩会	国分寺光	1名
新規 (什二)	復活 (什二)	2名
元八王子	日野 (相)	2名
調布下石原第三	霊宮聖使命	1名
町田緑山	町田野津田	1名
町田野津田	町田金井第一	2名
国立富士見台第二	田無緑町	1名
新規 (護持)	府中本宿第一	1名
ひばり	八王子多摩大塚	1名
八王子川口	八王子桐田 (相)	1名
元八王子	日野 (相)	37名
国立東第二		2名

★ 献資・献納品

- 〔一般寄付〕
- ・ 匿名希望様 1万円
- ・ 匿名希望様 1万円
- ・ 匿名希望様 1万円
- ・ 匿名希望様 1万円
- ・ 匿名希望様 5万円
- ・ オープン食堂へ (5千円以上)
- ・ 匿名希望様 1万円
- ・ 匿名希望様 1万円
- ・ 甲斐和子様 5千円



日 曜	2月 行事予定表 (青文字は教化部長が出席・指導)
1 土	分社月次祭 1030 (観世音)、[青] 輪読 N F 2000
2 日	[相] 聖典等拝読のつどい 1000、責任役員会・六者会議 1000 [教] 教育フォーラム 1330
3 月	
4 火	教化部長による地区講演会 (西多摩、青梅) 1300
5 水	[白] 正副 1000、[講] 正副 1315 (参議会)
6 木	休館日
7 金	◆実相研鑽 N F 1230 ネット併用、[白] 熟年のつどい 1345
8 土	[相] 役員会 1000 ネット併用、[教] 役員会 1000
9 日	オープン食堂 1200、聖歌練習日 1330
10 月	
11 火	建国記念の日祝賀式 1000 ネット併用、[講] 正副推進 1315、職員献労 1320
12 水	休館日 (2/11の振替)
13 木	休館日
14 金	三多摩見真会 ネット併用
15 土	三多摩見真会 (先祖供養祭 1000) ネット併用 一汁一飯の日 (搬入日)
16 日	[相] 会長会議 1000 ネット併用、青少年 N F 1000 ネット 青年会育成会議 1100 ネット併用、聖歌練習日 1330 (Zoom) ネット併用
17 月	◆ [白] 若い白鳩のための N F 1230 ネット併用
18 火	
19 水	[白] 総連長・対策部長会議 1000、スマホ教室 1330、職員会議 1500
20 木	休館日
21 金	聖歌練習日 1330
22 土	[栄] 役員会 1000
23 日	休館日 (天皇誕生日)
24 月	休館日 (振替休日)
25 火	◆ [講] 地方講師研修会 1230 ネット併用
26 水	
27 木	休館日
28 金	◇ 母親教室出講勉強会 1230 ネット併用

「◆◇」印のある行事
東京第一教区との合同行事。
◆印の方がメイン会場です。